



# PTA新聞

3月号

発行所/福岡県PTA連合会  
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50  
福岡県吉塚合同庁舎5階  
TEL092-643-7766 FAX092-643-7767  
発行人/松尾 和昭  
編集/広報委員会

県P連ホームページアドレス  
https://fukuokaken-pta.jp



## 10/19 (木) 北九州ブロック

テーマをもとに活発に意見交換ができた代表者会議となりました。アフターコロナとしてまだ活動が回復していない単Pが多く、これからどのように活動を回復させたらよいかと不安な意見を率直に伺いました。そのような中でも、制限を緩和しながら学校や地域行事を役員・学校・地域で協力を求め合いながらアフターコロナの環境に合わせ、徐々にPTA活動を再開しているという実践報告もたくさんありました。お互いの情報交換の場として大変参考になり、今後のアイデアにつながりました。

子どもたちのためにも活動を行いたいと意見が交わる中で、今後のPTA任意加入の伝え方や役員の募集方法、制度など、見直すべき問題や検討していく課題も多く、まだまだ意見交換を深めたい会議となりました。(高津レミ)



## 11/10 (金) 南筑後ブロック

令和5年5月よりコロナが5類感染症に変更されたことで、学校教育・PTA活動・地域交流が少しずつ復活しているとのことでした。それに伴い、PTA役員または事務局間の活動内容の引き継ぎや役員選考、また保護者の活動への参加に関する問題などを共有しました。しかし、そのような中でも「交流こそ成長である」と子どもたちのための活動を活発にさせ、「つながりは大切だ」と学校と保護者または地域の潤滑油となるべく意志をもって活動されている様子が感じられ、改めて社会教育団体としてのPTAのあり方を認識できた意義深いものでした。(星野美由紀)



令和5年5月よりコロナが5類感染症に変更されたことで、学校教育・PTA活動・地域交流が少しずつ復活しているとのことでした。それに伴い、PTA役員または事務局間の活動内容の引き継ぎや役員選考、また保護者の活動への参加に関する問題などを共有しました。しかし、そのような中でも「交流こそ成長である」と子どもたちのための活動を活発にさせ、「つながりは大切だ」と学校と保護者または地域の潤滑油となるべく意志をもって活動されている様子が感じられ、改めて社会教育団体としてのPTAのあり方を認識できた意義深いものでした。(星野美由紀)

## 11/11 (土) 京築ブロック

アフターコロナのなかで、コロナ前のような活動を単位PTA単独で進めていくことは難しくなっていると感じている。学校運営協議会(地域)や先生方などと連携して、子どもたちのために活動していきたい。また、学校の統廃合が進んでいくなかで、活動や組織の見直しを進めていく必要があるといった声が多かった。

役員を引き受けて、多くの方とつながることができて「やってよかった!」と感じている。PTAの活動内容をしっかりと伝えて、多くの仲間を増やしていきたい。(鬼頭良典)



## 11/20 (月) 筑豊ブロック

筑豊ブロックの市町村会議に参加させていただきました。いろんな学校の方々や校長先生などが集まって話す機会がないので、すごく楽しくいい会議になったのではないかなって思います。なかでも、「各市町村での講演会はどんなふうに行っているか」「今年はこんな講師の先生をこんなふうにして呼んだよ」などの話が盛り上がり上がっていました。



他には地域の方々と連携して子どもたちの通学路の見守りをしていただいているなど本当にいい話を皆さんと共有でき勉強できた1日でした。参加して下さった皆さん本当にありがとうございました。(熊本友和)

## 11/25 (土) 北筑後ブロック

会議出席者のうち、コロナ禍に単Pの役員になった方が大半。引き継ぎをしてくれた前任役員もコロナ禍での活動経験しかなく、「コロナ禍前の活動に戻そう」と言われてもコロナ禍前の活動が分からないとの意見が多かった。そのような状況でも、「徐々に戻していく」「これを機会に新しい取り組みを試みる」など、前向きに取り組まれていた。「PTA活動を行うには、コミュニケーションが大事であり、保護者、学校、地域、PTA(団体)間で交流する機会が必要」ということが、皆さんの共通の認識であることが共有され、これからの活動に活力を与える良い時間となった。(清原龍彦)



## 11/25 (土) 福岡ブロック

福岡ブロックは、他のブロックと違い、1000人を超える大規模校も多く、PTAの任意加入の届けを取る・取らないという緊迫した困りごとに直面しているお話を多数お聞きしました。その中で、PTA活動の楽しさややりがいをしっかりアピールし、負担が大きいというイメージを変えていこうと努力されたり、コミュニティーに頼ることも視野に入れ、学校に合わせた活動を無理なく行い、PTAの「つながる役割」をなくさないようにと頑張っていたり、とてもよくわかりました。



それぞれの学校の抱えている問題の解決の糸口になり、良い取り組みを自校に取り入れるきっかけになると、この会議が大変有意義であると言っていただきました。(香月まゆみ)

### 令和5年度【市・町・村】代表者会議

## 「アフターコロナのPTA、今とこれからのPTAのありかた」

福岡県PTA連合会(県P)の役員が県内の各地域に出向き、現地PTAの皆さんと語り合う「市・町・村」代表者会議。第1回目(10/11)に開催されました。会議の様子を各ブロックに参加した県P副会長がレポートします。



### 3月号 もくじ

- 1面……第1回【市・町・村】代表者会議開催
- 2-3面…令和5年度ブロック研修会開催/学ビバ!!FUKUOKA 2023北九州大会開催
- 4-5面…PTA通信/福岡県いじめレスキューセンターのお知らせ/福岡ながら!防犯チャレンジ/PTA役員研修会のお知らせ
- 6面……PTA活動レポート(宇美町小中学校PTA連合協議会/嘉麻市PTA連合会)
- 7面……小・中学生総合保障制度のご案内
- 8面……食べるってなあに/スポーツ交流会開催/県P委員のひとりごと

### ★第3回まなびのひろば配信について★

- 期間: 2月27日(火) 10:00~3月4日(月) 17:00まで
- 県Pホームページの「最新のお知らせ」よりご視聴できます。
- 動画パスワード: \*\*\*\*\*

### 地域の現状、困りごとを持ち寄って

### 「なるほど!」な事例や参考になる取り組みを共有しました

【市・町・村】代表者会議は、皆さまとの交流を主な目的として毎年開催しております。第1回【市・町・村】代表者会議を終えて、各市町村での悩みや課題を共有することができ、またアフターコロナの新たな取り組みをお聴きすることができ、大変有意義な会議であったと思います。ご出席いただきまして、皆さまありがとうございます。現代の学校教育は、学校・家庭・地域の連携が不可欠であるといわれております。この三者の連携の核を担うのが私たちPTAであると考えます。時代にあったPTA活動を展開し、私たち大人が手をとり合っていることが、子どもたちの健全な成長につながっていくものと信じています。持続可能なPTAをめざして共に創造していきましょう。(鬼頭良典)

### 県Pより

### 第1回会議を終えて……



令和5年度

# ブロック研修会レポート

毎年、講演会や実践発表会など多彩な企画で「面白かった」「勉強になった」と好評のブロック研修会。令和5年度も多くの学びを共有できました。

## 北九州 ブロック研修会



令和5年12月9日(土)  
@なかまハーモニーホール(中間市)

- ◎実践発表  
中間市立中間東中学校  
テーマ:『無理なく・仲良く・楽しんで!』できるPTA活動  
~持続可能なPTA活動を目指して~
- ◎講演「ちゃんとを少し捨ててみよう~虐待当事者の声~」  
講師:自立援助ホーム職員 栗岡直也氏

200名以上の会員が参加した今回の研修会では、コロナ禍の終焉を感じることができました。前半では、実践発表が行われ、役員以外の保護者も参加しやすい活動のアイデアが共有されました。参加者からは、「発表中に使用されていたチラシが欲しい」という感想も寄せられ、今後のPTA活動への積極的な取り組みが感じられました。



開会行事の様子

後半では、栗岡直也氏を迎え、児童虐待防止に関する講演が行われました。家庭で実践できる方法が多数紹介され、会場では隣席の参加者と共に実践し、私自身も帰宅後すぐから実践しています。



栗岡先生に花束を

この研修会が、今後のPTA活動の活性化や資質向上に役立つことを願っています。  
(北九州ブロック会長 有村勇作)

## 福岡 ブロック研修会



令和5年10月21日(土)  
@リーパスプラザこが(古賀市)

テーマ:これからの社会で求められるもの  
講師:社員教育接遇マナー研究所代表 俵純子氏

今年度の福岡ブロック研修会は、企業や小中学校で接遇マナーの講演をされている俵純子先生をお迎えし、「これからの社会で求められるもの」のテーマで講演会を開催いたしました。コロナ禍で自粛生活を余儀なくされ、今まで当たり前だった生活が一変し、大人も子どもも人とのコミュニケーションが減ったことを日々実感していました。



優しく語りかける俵先生の講演

俵先生の講演の中で「言葉は心の想いのかたち」であり言葉にしないと伝わらない。当たり前のことではありますが、日々の日常の中でなかなか言葉にして思いを伝えていないと気づかされました。人との出会いは偶然ではなく必然。だからこそ出会いに感謝し、家族や友人に「いつもありがとう」と気持ちを伝えたいと思える、心温まる講演会となりました。

(福岡ブロック会長 木庭佳奈)

## 京築 ブロック研修会



令和5年12月10日(日)  
@げんきの杜(上毛町)

テーマ:親学~人として、大人として、子どもたちに誇れる親の姿~

- ◎実践交流会
  - (1)豊前市立黒土小学校PTA  
テーマ:持続可能なPTA活動の模索~少子化とwithコロナ対策~
  - (2)築上町立葛城小学校PTA  
テーマ:学校・家庭地域が連携し、子どもたちの学びや成長を支えるPTA活動をめざして
- ◎講演「人を紡ぐ・いのちを紡ぐ ~地域で生きるために大切なこと~」  
講師:福島大学人間発達文化学類 特任教授 天野和彦氏

前半に実践発表、後半に天野先生の講演を行いました。実践発表の感想では「各学校の取り組み内容、改善点、自分の学校でも取り入れられそうだ」「地域の特徴も、各学校の行事、PTA活動もそれぞれ違いや特色があることがわかり、選択肢はいろいろあると思った」等、他地域の取り組みが聞けて良かったという意見が多くありました。



天野先生の講演の様子

講演の感想では、「つながることの大切さを改めて感じた」「地域、学校とPTAの繋がりが凄く大切だと再認識し、もっと積極的に活動出来る環境作りをしていきたいと思った」等、参加者の90%が「大変良かった」との意見でした。

(京築ブロック会長 相原美由紀)

## 北筑後 ブロック研修会



令和5年11月12日(日)  
@うきは市文化会館(うきは市)

テーマ:心豊かで、たくましく生きる子どもを育むPTA活動

- ◎実践発表
  - (1)うきは市立御幸小学校PTA  
テーマ:会員のニーズに合わせたPTA活動へ
  - (2)うきは市立吉井中学校PTA  
テーマ:「SNS等の使用による課題」の解決に向けた取組
- ◎講演「子どもの声、聴こえていますか?~SNS相談から見た子どもたち~」  
講師:子ども家庭支援センターあまぎやまセンター長 坂口明夫氏

コロナ禍が落ち着きを見せ、会員400名を超える皆さまにご参加いただき、ここ自然豊かなうきは市で本研修会を開催することができました。アンケートの回答を見ると、研修会の内容や運営に対して、多くの方に満足の結果をいただくことができました。ご講演いただいた坂口明夫先生のお話はたくさんの賛辞の声をいただきました。実践発表の2校は、まさに今のPTA活動を考えるきっかけとなるものだったと思います。



研修会の始まり!開会の言葉

PTA活動も今後、復活するものや改善されるものなど様々であると思いますが、これからのPTA活動の一助になればと思っております。ご参加いただいた皆さま、本研修会の開催にあたりご協力いただいた皆さま、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



講演する坂口先生

(北筑後ブロック会長 佐藤和徳)



# 学ビバ!! FUKUOKA

## 2023北九州大会 ～PTAとしての学び場～

スザンヌさん



蓑手章吾さん

(オルタナティブスクール創設者)

### 「楽しくなければ 学びではない」

福岡県PTA連合会、福岡市PTA協議会、北九州市PTA協議会で構成される三P協が毎年持ち回りで開催する「学ビバ!! FUKUOKA」。令和5年度は北九州市PTA協議会が主管となり、12月2日、北九州国際会議場にて行われました。

東京のオルタナティブスクール「HILLOCK (ヒロック) 初等部」創設者の蓑手章吾さんと、タレントのスザンヌさんがトークセッション。バラエティー番組で“おバカキャラ”として人気を博したスザンヌさん、「あれはキャラじゃなくて、本当だったんですよ～」と会場を笑わせ、なごやかなムードでトークがスタートしました。



芸能活動で多忙だったスザンヌさんは、子育てをする中で「学び直しをしたい」と感じ、大学のファッションビジネスコースに入学。アパレルブランドも立ち上げました。「起業の際、知らないことだらけで苦労しました。何でも人に聞いて助けてもらいました」と語るスザンヌさんに、「大事なものは“聞く力”。その力をつける場所が今なくなっている」と蓑手さん。「学校の役割は、勉強を教えるのではなく学び方を教えること。競争ばかりだと、子どもたちは学ぶ楽しさを感じられなくなる」と指摘し、「学びとは幸せになる力を高めること。好きな人、大切な人と一緒に幸せになるためには、社会性やコミュニケーション能力が必要」と、学びの本質について話しました。

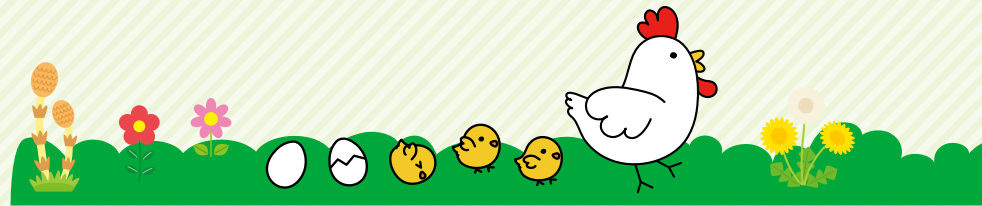


「子どもが好き嫌いが多くて困っている」など、スザンヌさんが蓑手さんに相談するシーンも。等身大の子育ての悩みからテレビ収録の裏話まで、楽しい話が尽きないひとときとなりました。

「子どもが好き嫌いが多くて困っている」など、スザンヌさんが蓑手さんに相談するシーンも。等身大の子育ての悩みからテレビ収録の裏話まで、楽しい話が尽きないひとときとなりました。



トークセッションの様子。スザンヌさんの癒やし系の穏やかなトーンと蓑手さんのテンポの良い語り口で終始、話が弾みました。



## 南筑後 ブロック研修会



令和5年12月17日(日)

@大木町総合体育館こっぽーっとホール(大木町)

テーマ：子どもを守るメディアとの関わり方とは  
アトラクション：和太鼓天樹

◎実践発表

大木町立大木中学校 PTA

テーマ：大木中学校のメディア使用の実態

◎講演「事例から学ぶ！子どもたちをネットの危険から守るための3法則」

講師：共生と共有ネットワーク理事 青山真理氏

令和5年度の南筑後ブロック研修会は、今や1人1台のスマートフォンをはじめとする、メディアやネットとの関わり方について研修会を行った。

青山真理氏には、ネットいじめや、どのようなところにネットの危険が潜んでいるかなど、事例をもとに具体的な対策をご講演いただいた。また、メディアをポジティブに活用する、デジタルシティズンシップの話があり、理解が深まった。

今回の講演で、ネットの危険性を理解し、失敗しないための具体的な対策、正しく使用するためにはどうするかを学ぶ良い機会となった。

子どもたちをネットの危険から守るために、学んだことを実践し、健やかな成長をサポートしていきたいと思います。

(南筑後ブロック会長 大藪耕士)



迫力満点の和太鼓

講演する青山先生

## 筑豊 ブロック研修会



令和6年1月21日(日)

@イヅカコスモスコモン(飯塚市)

テーマ：考える力～予測困難な時代を生きぬくために～

◎実践発表

嘉麻市立碓井義務教育学校

テーマ：共に育む「共有」～今こそ地域と共にPTAを再生させよう～

◎講演「自分らしく生きるために」

講師：車椅子 YouTuber「現代のものけ Maco」 渋谷真子氏

今年度の研修会は「考える力」というテーマで進めてまいりました。PTAの歌では、地元で活躍されている「としとらーず」(平均年齢80歳)の皆さんと共に全員で合唱するなど今までにない形を取り入れられました。

実践発表では、1つ1つできる事をできるタイミングで取り組まれた事例をもとに、動画を多く取り入れ、最後には登校指導の中で地域と共に育んできた子どもたちが登場するなど、会場のみなさんも温かい目で見守る発表をされました。

講演会では、車いすYouTuberでもある渋谷真子さんをお迎えし、「自分らしく生きるために」というテーマで、どのような状況の中でも自分らしく前向きに、輝いてきたお話をご講演いただきました。今回の研修会を通して、1つでもみなさんの心に響くものがあれば幸いです。

(筑豊ブロック会長 平嶋祐介)

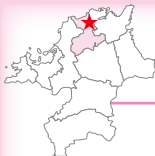


碓井義務教育学校の実践発表

「としとらーず」の皆さん

講演する渋谷真子さん





### 子どもまつりでつながる

【北九州】水巻町立頃末小学校

頃末小学校は、「家族・地域・学校が大好き!! 響き合いつながる頃末っ子!」を合言葉に、学校・家庭・地域が連携した取り組みを推進しています。その一環として、11月18日(土)に「子どもまつり」を開催しました。多種類の遊びや工作、わら細工等のコーナーをPTA役員や保護者、地域のボランティア、「おやじの会」が担当しました。そして、5・6年生の子どもたちも受付や遊びのお手伝い等をし、正に、学校と家庭、地域が一体となった運営をすることができました。縦割り班で参加した子どもたちはバラエティー豊富な内容に、時間の許す限り楽しんでいました。

また、校長室を会場として、学校運営協議会役員がカフェを同時開催し、お菓子や野菜、日用品の販売も行いました。

子どもまつり終了後、児童会主催の「感謝の会」が行われ、日頃から見守り等で関わってくださることや子どもまつり開催のお礼を伝えました。

今後も、子どもたちの心が響き合い、たくさんの人をつながる力が育つように地域・家庭・学校が一緒になって取り組める機会をつくっていききたいと思います。

(頃末小PTA会長 岩本遼太)



子どもまつり「緑日コーナー」での様子



馬場っ子フェスタの様子



### 馬場っ子フェスタ開催

【京築】苅田町立馬場小学校

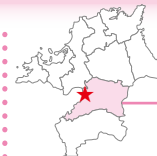
11月11日(土)、4年ぶりに「馬場っ子フェスタ」を開催しました。今年度は、PTAの役員さんを中心に参加できる保護者ボランティアの方を募り、できることを考えて実施しました。

当日は、苅田中学校吹奏楽部の華麗な演奏でスタート。その後は、体育館内外のブースで、輪投げ、くじ、ストラックアウト、スタンプラリーや抽選会を楽しんだり、ウイナーの串焼き、綿菓子、ポップコーン、揚げパン、ミニシューなどを食べたり、バザーコーナーで買い物をしたり、子どもと保護者がふれあう楽しいひとときを過ごすことができました。コロナ前と比べると規模は縮小しましたが、子どもたちの笑顔があふれるフェスタとなりました。

このように馬場小学校では、できる活動ができるメンバーで行うPTA活動を目指しています。

今後も可能な限り、役員や教職員の負担を減らし、参加しやすく楽しいPTA活動を考えていききたいと思います。

(馬場小PTA会長 平井雅崇)



### 4年ぶりの地区懇談会開催

【北筑後】小郡市立小郡中学校

小郡中学校区では、小中PTAでさまざまな合同事業を行います。今回は、毎年6月に開催する地区懇談会について紹介します。

コロナ禍における事業自粛の影響で、令和元年以来4年ぶりの開催となりました。

地区懇談会とは、子どもたちの生活を中心とした安心・安全なまちづくりをめざし、小中の保護者と教職員、地域住民(区長、民生委員、地域指導員等)が一堂に会して話し合いをする場です。小郡中学校区には14の行政区があり、各行政区の公民館等を利用して地区別に懇談会を行います。

その際、小学校PTAで作成した「まなざしマップ」を活用し、各区内の交通面と防災面の危険箇所を再確認しながら協議を進めます。この協議内容を踏まえて地域の声を行政に届けることで、危険箇所が改善された事例が校区内に多数あります。

他にもさまざまな情報交換が行われ、毎回時間が足りないほど話し合いが白熱します。保護者、学校、地域にとってとても大切な事業となっています。

※「まなざしマップ」と改善事例は、小郡中、小郡小の各HPに掲載しています。

(小郡中PTA会長 北川修一)



地区懇談会の様子

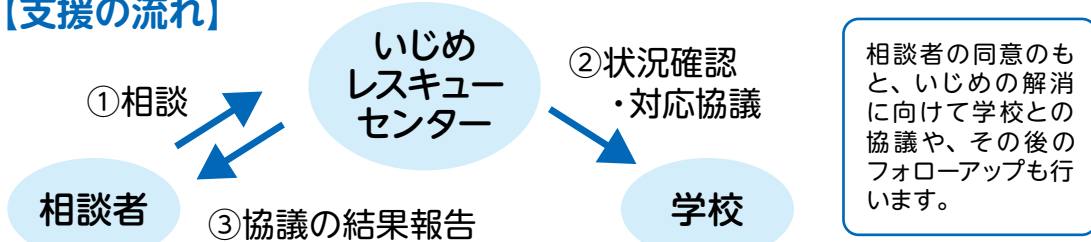
#### 1人で悩まないで

## 福岡県いじめレスキューセンターのお知らせ

福岡県では、いじめの早期発見・解消を図り、重大化・長期化を防ぐため、学校や教育委員会の相談窓口に加え、いじめに悩む子どもや保護者を支援する新たな相談窓口「いじめレスキューセンター」を開設しています。学校への相談を迷ったときは、いじめレスキューセンターへご連絡ください。



#### 【支援の流れ】



### 福岡県いじめレスキューセンター

☎ 092-645-2567

**対象事案** ・学校への相談を迷ういじめ  
・学校への相談後、第三者による支援を希望するいじめ

**対象者** 県内の小・中・高等学校に通う児童生徒とその保護者

**開設日時** 10時～18時  
※土曜日・祝日および年末年始を除く

メールでの相談や面談の予約など、詳細はHPをご確認ください

社会福祉士などの資格を有する支援員が対応します



HPはこちら

いじめレスキューセンター以外にも、子どもの悩みに対応する相談窓口を設置しています。

詳しくはこちら



※センターは、民事・刑事上の責任追及、当事者である児童生徒への直接的な指導を行う役割は有していません。  
※メール等で取得した個人情報については、いじめの早期発見・解消、長期化・重大化するいじめの防止という事業目的のために利用します。当該個人情報は、相談者の意向に応じ、学校、学校設置者、市町村等の関係機関と共有します。



### 中島祇園祭りの継承

【南筑後】柳川市立中島小学校

中島祇園祭りの起源は、1843（天保14）年に八剱神社建立と同時に始まったと伝えられています。無病息災、五穀豊穰、大漁祈願を願い行われます。

しかし、昨今の人口減、少子化に加え、感染症の流行による祭りの縮小の影響もあり、祭りの賑わいも衰退傾向にありました。「このままでは、地域の伝統や文化が衰退してしまう」という危機感がありました。

これまで担当行政区の子どもたちのみ自分の町内の山車に乗ってお囃子を演奏することが許されていました。本年度、PTAを中心に区長さんたちに直談判しに行った結果、中島小に通う全ての児童の参加を認めていただくことができました。

早速アンケートを実施すると、「参加を希望したい」というたくさんの返事が返ってきました。

その後は、祭りの1カ月前から週2回のお囃子の猛練習。祭り当日までに完璧に演奏することができるようになりました。

今後も次世代の地域の担い手の育成に励んでいきたいと思えます。

（中島小PTA会長 松藤雄記）



祇園祭り当日の子どもたちと獅子山(山車)



キッチンカーでチョコロスを買う子どもたち

### 北中に笑顔の花が咲いた

【福岡】春日市立春日北中学校

11月3日（金）に「キタフィーフェスタ」が快晴の下、開催されました。令和元年のコロナ前は、保護者が焼きそば、唐揚げ等を作って販売をしていましたが、ここ2年は、お店から仕入れた物を販売する様にしました。令和2年度から、様々な活動が制限され始めて、社会全体が暗い雰囲気だった事を覚えています。PTAとして、子どもたちが楽しそうな事を考え、学校に提案しましたが、予想以上に壁は高く、何も実現できませんでした。

その中で、昨年度から復活できた「キタフィーフェスタ」に対する保護者の思い入れは強く、終わってみると大成功でした。その中でプロをお招きして、ミニコンサートも開催しました。今回は各学年委員の飲食販売に加えて、キッチンカーを呼んだ事で一気にお祭りムードが高まり、北中に関係する全ての人々が笑顔になっていて、大変嬉しかった事を覚えています。「ホットドッグ総選挙」や「バンドやろうぜ」といった企画も、子どもたちに大盛況でした。バンドでは、10組の子どもたちがボーカルで熱唱し、友達、保護者、先生全員で楽しい思い出を作り、北中に笑顔の花が咲いた1日となりました。

（春日北中PTA会長 奥田大輔）

### 新しい時代を共に歩むPTA

【筑豊】嘉麻市立稲築西義務教育学校

本校は、4月から、稲築西小学校と稲築中学校が統合され、新たに稲築西義務教育学校として開校しました。それに伴い、小中にそれぞれ設立されていたPTAが統合され、新たな稲築西義務教育学校PTAとなりました。

昨年度もコロナ禍の影響を踏まえつつ流動的、臨機応変な対応でコロナ禍以前のPTA活動を少しずつ再開していました。本年度は、児童・生徒が義務教育学校に慣れ、学校生活の充実につながる活動を第一と考え試行錯誤しながら活動を行っています。

特に、本年度は各学年の親子活動に力を入れています。「お店買い物体験」「ドッチビー大会」「運動会の法被づくり」「育てた芋でスイートポテトづくり」「合格祈願の絵馬づくり」等、親子で楽しい時間が過ごせる体験活動を行いました。しかし、残念ながらインフルエンザによる学級・学年閉鎖により、中止になった活動もありました。

今後も、これまで稲築西小学校や稲築中学校が取り組んできたPTA活動を基盤として、新たな稲築西義務教育学校PTAの活動を作り上げていきたいと思えます。

（稲築西義務教育学校PTA会長 奥田早苗）



新たに開校した稲築西義務教育学校

★単P役員の皆さんへ★

4/14日

## 令和6年度 PTA役員研修会

単位PTAの活動に役員、教職員として携わる皆様を対象に、PTAの現況・課題等を共有し、意見交換をすることで、活動への意欲を高めることを目的とする研修会です。

- 日 時／令和6年4月14日（日）  
13:00～16:00（12:30開場）
- 会 場／イヅカコスモスコモン 大ホール  
（飯塚市飯塚14-66）
- 参加対象／令和6年度単位PTA役員予定者、令和5年度役員、教職員
- 開催方式／現地開催

**パネルディスカッション**

テーマ **子どもの笑顔のために出来ること ～コロナ明けのPTA活動～**

県P・各ブロックのパネリストと福岡県社会教育課がパネルディスカッションを行います。

YouTubeで特別番組を配信中！

## 福岡ながら！防犯チャレンジ

ご視聴はこちら

日常生活の中に防犯の視点を取り入れる「ながら防犯」活動を推進するため、YouTubeで特別番組を配信しています。

散歩しながら ラ！ 通勤しながら ラ！

気軽に誰でも行える「ながら防犯」についてロケやトークで楽しくわかりやすく伝える情報バラエティ番組です。

<出演> 高木悠未 (LinQ)  
YUURI (結音WEST)  
UTA (結音WEST)  
みんなで防犯応援隊 ほか

いつでも、だれでも。

ながら防犯 活動推進

MC 高木 悠未  
アシスタント YUURI  
アシスタント UTA



Pick Up!

こんな取り組みをしています♪

# PTA活動レポート

市・町P連で行ったユニークな研修会をご紹介します

宇美町小中学校  
PTA連合協議会

町内親子イベント サッカー日本代表 森保一監督 講演会

## あきらめない、心と体のつくり方

12月15日、宇美町小中学校PTA連合協議会と宇美町の共同事業で、森保一監督の講演会が開催されました。サッカーワールドカップで日本チームを決勝トーナメント進出に導き、日本中に感動を届けた森保監督の考え方に触れようと、宇美町の小中学校の保護者と児童・生徒360人が詰めかけ会場は超満員。宇美中PTAの藤田佳孝会長との対談が始まると、参加者は身を乗り出すようにして話に聞き入りました。



長崎で育った森保監督は、高校受験に失敗したり、サッカーから一度離れたりと、少年時代は決して

順風満帆ではなかったそう。けれど、そんな中でも出会いを大切に、自分と向き合い、自分に正直になった時、本当にしたいことが見えてきたと言います。

質疑応答では保護者や子どもたちから次々と手が挙がり、特に子どもたちからの「SNSなどでのマイナスな意見にへこたれない?」「伸びる人と伸びない人の違いは?」など、直球すぎる質問に思わず監督が苦笑するシーンも。「今は夢が見つからなくても、あせらなくていい。好きなこと、楽しめることを大切に。続けていけば、いつか結果が出る」

そんなアドバイスから、日本代表チームの「強さ」の秘訣に触れることができた貴重な講演会でした。



講演する森保監督。質問する子どもたち一人ひとりに「質問できてすごいね」「勇気があるね」と声をかける姿が印象的でした。

嘉麻市  
PTA連合会

やながわ有明海水族館 館長

亀井裕介さんの 進路実現に向けたお魚講座

## 身近な水辺の生き物たち ～大学生館長から学ぼう～

高校生の時に  
館長に就任した亀井さん。



参加者の感想

アンケートより抜粋

- 貴重なお話を聞くことができました。子どもの興味があることがどんどん伸びてほしい、そう思いました。(保護者)
- あっという間の1時間半でした。嘉麻市の各学校の子どもたちみんなに聞かせてあげたい内容でした。(保護者)
- 19歳の時の自分自身と比較して、生き方・表現力・魅力…などなど、素晴らしいさに感動しました。会場に来ていた子どもたちはもちろん、大人もみんなラッキーでした。(学校関係者)

嘉麻市PTA連合会では、「身近な自然(生き物)を知って、環境保全について考える」ことを目的に、12月16日、嘉麻市下山田小学校白馬ホールにて研修会を開催しました。

高校生館長として注目を浴び、バラエティー番組「激レアさんを連れてきた。」にも出演された、テレビでも大活躍中の亀井裕介氏をお招きし、水辺の生き物たちの魅力や環境問題について講演いただきました。親子参加型の研修会ということで、講演の最後には、子どもたちからたくさんの質問があがり、とても賑やかな研修会となりました。亀井さんからは「好きを貫こう!!」という力強いメッセージが贈られ、難しい時代を生き抜いていく上で、一番すてきなワードとして心に響いたのではないのでしょうか。



興味津々で聞き入る参加者の皆さん。質疑応答でもたくさんの方が手を挙がりました。



珍しいどじょうも展示されました!



嘉麻市の児童が捕まえてきた「オンガスジシマドジョウ」。とても珍しいどじょうです。

活動報告  
大募集!

取材に  
行きます!

あなたのPTAのユニークな取り組みや楽しい活動を教えてください。県P新聞や県Pホームページでご紹介します。応募については県P事務局までお問い合わせください。



# 福岡県PTA連合会「小・中学生総合保障制度（こども総合保険）」

偶然な事故による

## ケガをしても



### 傷害補償

偶然な事故による  
お子様のケガに備えます。

## ケガをさせても



### 個人賠償責任補償

法律上の  
損害賠償責任に備えます。

# まさか！の時でも、安心です。

自転車事故により、**高額**の損害賠償金の支払いを命じられた事例も発生しています！！

詳しくは、3月初旬に学校より配布されます「小・中学生総合保障制度」パンフレットをご覧ください。

この制度の詳しい内容はこちらからも確認いただけます

AIG損害保険株式会社

『お子さまのための総合保障制度』

<https://riskfinder.jp/school/>



## お問い合わせ：0120-228-553

受付時間 平日 午前9時～午後5時

- 制度取扱代理店：株式会社コーリン（福岡県PTA連合会保障制度事務局）〒810-0022 福岡市中央区薬院4丁目3-5 セレス薬院5F
- 制度引受保険会社：AIG損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社  
三井住友海上火災保険株式会社 Chubb損害保険株式会社

この広告は「小・中学生総合保障制度（こども総合保険）」の概要についてお伝えしています。ご加入の際は必ずパンフレットおよび重要事項説明書をご覧ください。





山際千津枝の

— マングースの独り言 —

Vol.120

# 食べるってなあに

今年もよろしくお願いします。

お正月早々、大変な年になりました(この原稿を書いているのは1月中旬です)。私は新潟旅行の計画がキャンセル、知人も多く住む地域でもあります。日航機の事故。小倉の食堂街の火事は幼い頃から親しんだ場所だったこともありショックでした。なぜか気になって暮れに訪ねたばかりだったのです。

テレビのニュースは悲惨な画面ばかり…。それが原因か定かではないのですが、1月3日から腹痛が始まり8日、出演のFBS福岡放送のテレビ番組「めんたいワイド」にはお腹が痛いままの出演でした。綺麗にメイクしてもらって、お正月らしい着物姿で気取っていました。3時間ずっと笑顔を装っていましたが、実はトイレを我慢していたという悲惨な状態でした。自分では気が強いと思っても、やはりひどい災害を目にし、耳にすると心身が影響を受けることもあるのです。周囲が大変な時にこそ自分の生活の普通と心の平穏を大切にしなければなりませんね。脂汗をかきながら心の底からそう思いました。

生活の普通(実はありがたいこと)といっても漠然としています。改めて整理してみましょう。

睡眠をしっかり取る…日本人の睡眠時間は他国に比べて短いとい

やまぎわ・ちづえ

食をコミュニケーションツールと考えている料理研究家。その他エッセイスト・テレビラジオのコメンテーター。現在は博多阪急デパートにおいて地下食品販売部アドバイザーを務める。

## 台所で思うこと…



われています。朝から乗り物の中で爆睡している人の多いこと。それ自体が危険なことでもあります。

お風呂に入りましょう。シャワーではなく。身体の清潔と温めは日本人の長寿の源です。お湯に漬かっている間は重力から自由ですから、正に骨休めとなるのです。

食事を美味しく、楽しくいただきます。1日に30品目食べるとか何回噛むとか、無添加でなければとか、強いこだわりからは自由でいてください。

主食と主菜と副菜…ご飯と(もちろんパンでも)血や肉になるタンパク質(肉や卵、豆腐など)と野菜(トマトやホウレンソウやモヤシなど)が一食に揃っていれば完璧ですが、1日の中で調整しても良いのです。食事が身体をつくり、心にまで影響する大切なものであるということさえ忘れずにいれば、なおざりにすることはありません。

帰宅時や食事の前に手を洗う。手洗いは食中毒だけでなくあらゆる病の予防の基本です。残った食べ物はそのままにせず、必ず容器に移し替えて冷蔵庫に。1日一度でも家族揃っての食事。そして時々家族以外の人と食卓を囲む。

当たり前のことが大切です。

4年ぶり  
3回目の  
開催!

# 白熱のスポーツ交流会

コロナ禍のため中止されていたスポーツ交流会が4年ぶりに開催されました。

2月4日、嘉麻市の嘉穂総合体育館でソフトバレーボール大会が行われました。福岡、北筑後、南筑後、北九州、筑豊、京築の各ブロックから計18チーム・155人が参

加。激戦が繰り広げられる中、優勝旗を手にしたのは京築ブロック「りまっぴーくらだ」チーム。参加者みんなで健闘をたたえあい、スポーツの楽しさを実感できた1日となりました。



みんなで三連覇を目指して頑張りました! 試合に出られなかったメンバーもいましたが、応援のおかげで優勝できました! これからも練習を続けて四連覇を目指します!

## 実行委員インタビュー 研修委員会・香川哲也委員長に聞きました!

—どんな思いで開催されましたか?

スポーツ交流を通してPTA会員の絆をさらに深めてもらいたい、そして1人でも多くの方に楽しんでもらいたいという気持ちでした。

—準備などで苦労したこと、また楽しかったことは?

4年ぶりの開催のため前回までの資料がなく、すべて手探りで準備となりました。そんな中、ソフトバレーボール大会を開催したことのある筑豊ブロックのPTA役員の方と交流することができ、運営にご協力いただけることになりました。単Pの活動もそうですが、イベントは1人の力ではどうに

もなりません。あらためて、つながりと協力することの大切さを学びました。ご尽力いただいた全ての方にお礼を申し上げます。

—当日の感想をお願いします。

チームで声を出し合い協力する姿がとても印象的でした。笑い声が絶えないチームや真剣にバレーをやるチームなど、それぞれの色があり、面白く感じました。勝利のために頑張るお父さん、お母さんの姿はとても素敵でした。今回は運営側でしたが、次は選手として参加してみたいですね。

—ありがとうございました!



「りまっぴーくらだ」チーム (京築)



「勝山中・久保小合同」チーム (京築)



(写真左から)「イナツキヒガシ」チーム(筑豊)と「嘉麻市連ゴー」チーム(筑豊)



## 参加者の感想

●いろいろな人たちが関わることってなかなかないので、とてもいい機会だと思いました。試合してとても楽しかったのでまた参加したいです。

●みんなで和気あいあいと楽しませていただきました。いろいろな人と仲良くできたのが本当に良かったと思います。来年も期待して待っています!

●練習をもっとしてから来ればよかった。結果は出せなかったけど(笑)、楽しくプレーしました。頑張りました!

## 県P委員のひとりごと

私は、たまたま県P役員に選ばれる年に単Pの会長であっただけで、単Pの会長職を引き受けた時には、まさか自分が県Pの委員長になるとは思ってもいませんでした。人生面白いものです。県Pの理事になり、家庭教育委員会を希望しました。家庭教育は個々の家庭だけの責任ではありませんが、ましてや、学校に押し付けるものでもありません。私たちがそのような育てられたように、社会全体で支えあい、子どもたちの成長を見守れる環境が大切です。子育てや家庭教育を応援できる社会を一緒につくっていきましょう。

田興(三) (家庭教育委員長 石)